



目次



1. 福島支援活動
2. 2020年度支援金・支援物資のご報告
3. シングルマザー支援
4. ネパール・ウクライナ・ベネズエラ支援
5. ビデオメッセージ交換企画

福島県

7ヶ月振りの活動!

新型コロナウイルスの影響で自粛していた福島支援活動が、9月末にようやく再開しました。身体に直に触れる温熱施術は希望者のみに限定していますが、福島の皆様と共に少しずつ可能な支援に取り組んでいます。



おなじみの温熱施術に加えて、NPO法人「花見山を守る会」さんの活動である花見山整備作業・畑仕事のお手伝いをしています。

花見山でのお仕事

～美しい景観・散策道をめざして～

CheFuKoは以下の作業をお手伝いしました。

- ・伐採後の丸太・枝の運搬とチップ化作業
- ・球根植え
(チューリップ、水仙)
- ・菜の花の種まきと肥料まき
etc.



そして、畑



NPO法人「花見山を守る会」さんでは野菜を育て、収益に繋げる事業を行っています。会で育てた野菜が消費者の手に渡ること、会の名前の宣伝にもなります。また、将来、福島市に来るボランティアたちが活躍する場を作る取り組みでもあります。

CheFuKoスタッフは耕運機で畑を耕したり、種まきや野菜の収穫など、様々な仕事を通して地域の活性化に貢献しています。

温熱も続けています！

スタッフは気持ちの良い温熱施術を届けられるように毎月の研修を重ねています。

福島で施術を受けられた方々より「身体が楽になった」「来てくれて嬉しい」など、温かい言葉を頂きました。

現在は南相馬市での活動は再開していませんが、CheFuKoは少しでも早く全ての支援活動が再開できるのを待ち望んでいます。



2020年度 支援金・支援物資のご報告

表題の件につき、下記の通りご報告いたします。

国名	支援先	支援物資	金額 (円換算)
ネパール		計	500,000
内訳	ライジングロータス児童養護施設	・寄付金	300,000
〃	ラダクリシュナ児童養護施設	・寄付金	200,000
ウクライナ		計	792,140
内訳	チェルノブイリホステージ基金	・寄付金	94,569
〃	ジトーミル精神病院小児病棟	・携帯殺菌灯3台 ・非接触体温計4点 ・フェイスシールド5点	61,594
〃	オブルチ地区病院産婦人科	・血中酸素濃度計4点 ・ハンドソープ2本 ・消毒液2本	43,466
〃	ジトーミル州立病院小児科	・手術器具(帝王切開用)	104,740
〃	ジトーミル市立病院	・注射針を処分する器具1点	122,545
〃	ナロディチ病院小児病棟	・遠心分離機1台 ・ソープディスペンサー1台 ・温度自動調節装置(サーモスタット)1台	39,801
〃	ジトーミル第12学校	・殺菌灯1台	27,756
〃	オブルチ第3学校	・殺菌灯1台	56,350
〃	オブルチ第3学校	・ハンドドライヤー1台 ・ソープディスペンサー2台	36,135
〃	グラドコヴィッチ幼稚園	・殺菌灯1台 ・ソープディスペンサー1台	35,088
〃	オブルチKirdany村の幼稚園	・殺菌灯1台 ・ハンドドライヤー1台	31,422
〃	ナロディチ カモミール幼稚園	・殺菌灯1台 ・ハンドドライヤー1台	67,243
〃	ナロディチの体育館	・殺菌灯2台 ・ソープディスペンサー2台	26,394
〃	ナロディチ サン幼稚園	・掃除機2台	45,037
〃	アンナ・ルクヤヌチュク (2017年ウクライナ×福島 交流プログラム参加者)	・入院費用	104,931
ベネズエラ	バレンシア サンディエゴ	・炊き出し支援	100,000
日本国内	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター	・寄付金 ・皆様からお預かりした応援メッセージ	300,000
〃	認定特定非営利活動法人 しんぐるまざあずふおーらむ	・寄付金	

合計 1,797,071円となりました。
温かいご支援ありがとうございました。



CheFuKoの支援 (抜粋)



グラドコヴィツィ幼稚園



サン幼稚園

2020-10-01



ジトーミル州立病院小児科

ウクライナ支援



ジトーミル精神病院小児病棟



ナロディチの体育館



オブルチ病院産婦人科

国内病院支援



国立研究開発法人
国立国際医療研究センター



病院炊き出し

ベネズエラ支援



ライジングロータス
児童養護施設

ラダクリシュナ児童養護施設



バレンシア市サンディエゴ



シングルマザー支援



左:当団体代表理事 榎沢
右:認定特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長 赤石様

2020年4～8月に、認定特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ様と連携して、保有している非常食セット（1日3食4日分）97箱をひとり親のご家庭に郵送しました。また、支援者の方々からお預かりした寄付金に加え、CheFuKoのお気持ちを含めた計30万円を7月にしんぐるまざあず・ふぉーらむ様へ直接お渡ししました。



団体の活動やひとり親家庭の現状についてお話を聞かせていただきました。

・コロナ禍で就労状況は悪化しており、解雇が4月は4%～5%だったが、7月下旬には**6～7%**に増えている。

・団体がメディアで取り上げられたこともあり、新規のひとり親の方の問い合わせが増えている。今年4～6月だけで、昨年度の年間相談数の約3倍の相談が来ている。年間では、昨年度より7～8倍、問い合わせが増えるのではないかと推測している。

・相談内容は「**米がない**」「**食料がない**」という相談がほとんど。このような環境でも必死に頑張る方々に親身になって寄り添っています。時には役所や施設に同行することもあるそうです。ひとり親の方々の力になるため、政府へ政策提言をされたり、現在も多くの課題解決を模索されています。

団体が企画されたハイキングにボランティアで参加させていただきました。子どもたちはもちろん、保護者の方々も大自然の気持ちの良い山道の散歩を楽しまれました。

我々は引き続き、しんぐるまざあず・ふぉーらむ様にアドバイスをいただきながらシングルマザー支援に取り組んで参ります。



マスク製作・寄贈



児童施設の子どもたちやスタッフの方々に、今年4月から当団体製作のマスクを無償でお渡しさせていただきました。8月には市販のマスクが入手可能になってきましたので、8月末を持ちましてマスク製作を終了いたしました。皆様の感謝の声が励みになりました。ありがとうございました。



寄贈枚数	
子ども用	300枚
レディースサイズ	105枚
大人用	147枚
計552枚	



ネパール支援



里親プロジェクト対象の二施設の内、男の子の施設であるラダ・クリシュナに、8月中旬に**寄付金20万円**を送金しました。ご協力いただいた支援者の皆さま、ありがとうございました。

現在、施設では小学生から高校生まで13人の子どもが暮らしています。新型コロナウイルス感染防止のため3月末から休校が続いていますが、高校生が小中学生に勉強を教えながら施設で過ごしているそうです。一日も早いコロナの収束を願います。



浴衣姿のアスミタさん

ライジングロータスに暮らすアスミタさんがSEE (中等教育修了試験) で高成績を取りました!



親友のバンダナさんと二人で勉強中

ラムジュン郡出身のアスミタさんは、4年前にライジングロータスにやってきました。彼女は貧しい家庭の出身で、親は4人姉妹を食べさせるのが精いっぱい、教育費を捻出できませんでした。

施設に来たばかりの頃の彼女の成績は、決して良くはありませんでした。施設で集中的に勉強をし、彼女の努力の甲斐もあり、SEE (中等教育修了試験) では4点満点中、3.8点という素晴らしい成績を取りました!!

彼女の夢は、看護師になることです。CheFuKo一同、応援しています!



コロナの現状

ネパールでは2020年3月24日からロックダウンが始まり、7月22日に一旦緩和されましたが、その後、感染者が増加したため、8月20日から再びロックダウンとなりました。経済が半年近く完全に止まっていたため、民衆から解除の要求が高まり、9月17日にロックダウンは解除となりました。

学校は3月末から休校が続き、再開の見込みが立っていません。可能な範囲でリモート授業を行っていますが、インフラ整備が整っていないので受けられるのはごく一部の子どものみ。学業への影響、また経済の影響が懸念されます。



ロックダウン中(上)と解除後のカトマンズ(下)



コロナウイルス感染者数概要 (※2020年12月10日時点)
感染者数 24.3万人 回復者数22.9万人 死亡者数 1,637人

ウクライナ支援



新型コロナウイルスの影響で、今年予定していたウクライナ渡航は中止となり、支援金を現地の協力団体へ送金する運びとなりました。

コロナ対策や衛生用品費用として支援金30万円を幼稚園や学校の施設運営に提供するだけでなく、コロナの影響で運営が逼迫している病院へ、医療器具や備品の購入費用50万円分の物資を提供しました。



ハンドドライヤーと掃除機



提供した手術道具

←現地メディアに取り上げられました。

幼稚園・学校への寄付

ウクライナの地方自治体と保健省は新型コロナウイルス対策を奨励しているものの、学校施設にはコロナ対策費用や器具が提供されていません。しかし、郊外の村にある幼稚園や学校はコロナ対策に割く資金的余裕はありません。

そこでウクライナの協力団体と連携し、金銭的に余裕のない幼稚園や学校と何が必要か入念に話し合い、計7施設へハンドドライヤーやソープディスペンサー、殺菌ランプを始めとするコロナ対策器具・衛生用品を提供しました。

今年度は例年と違い、新型コロナウイルスの影響が顕著に表れている『病院』にも支援を行いました。検温器を始め、血中酸素濃度計や帝王切開用の手術道具など計50万円分を寄贈し、ウクライナのメディアに取り上げられました。計5施設に備品を提供し、現地から続々と感謝の声が届いています。

ヨーロッパではコロナの第二派で感染者が増えておりウクライナも影響を受けています。今できる支援を引き続き考えていきたいと思っています。

病院への寄付



注射器処理に必要な器具(左)
フェイスシールドと検温器(右)

支援金はCheFuKoトータルサポーター(1,000円募金)から充当させていただきました。
いつも温かいご支援本当にありがとうございます。



コロナウイルス感染者数概要(※2020年12月10日時点)
感染者数 85.5万人 回復者数45.4万人 死亡者数 14,413人



←病院での炊き出しに喜ぶ子ども



←今か今かと、ご飯を待つ子どもたち

ベネズエラは情勢が不安定で物流が突然ストップし、物価が急上昇することがあり、貧困層は食事を摂ることが当たり前ではなくなっています。情勢悪化に加え、新型コロナウイルスの影響で仕事を失う方々が日に日に増加しています。

街ではデモ隊と治安部隊の衝突や、国民が店舗の商品を略奪することさえあります。ガソリンが手に入らず移動手段が限られたり、調理用のガスがストップし、一時はガスが40倍高い値段で取引されていました。

ベネズエラ支援



炊き出しは経済的に余裕がない層が多く住んでいるバレンシア市サンディエゴを中心に行っています。お金を節約し、可能な限り食事に充てるために提供した容器は回収して再利用しています。現地のボランティアの方々は、外出禁止令の制限がかかったり、調理用ガスの供給が止まりスムーズに支援活動ができない中でも、子どもたちのために懸命に動いてくださっています。

食事を提供するボランティアの方々



炊き出しの Pasta を順番に待つ子どもたち



ボランティアの方々に作っていただいた Pasta



炊き出しは、CheFuKoと連携している現地ボランティアの方々に協力し、毎月100人を超える子どもたちにご飯を提供しています。一人当たり100円以下でお腹いっぱい食べることができます。

牛肉・ニンジン・じゃがいも・玉ねぎ・パクチーを市販のトマトソースで煮込み、パスタソースを作っています。他にもご飯に味をつけて炒めた料理や、パンを提供しています。

支援金はベネズエラ子ども救済募金から充当させていただきました。
いただいたご意思を大切に、ベネズエラの子どもたちを守るために今後も支援して参ります。





福島xネパールxウクライナ

ビデオメッセージ交換企画



福島市レインボーハウス（学童）
の子どもたち



クリスマスカードに代わる、新しい 国際交流!

今年は新型コロナウイルスの影響によって郵便物を送ることが難しくなりました。

そこで恒例のカード交換に代わって、それぞれの国のコロナ禍の現状を伝えるビデオメッセージの交換に取り組みました。

子どもたちの応援の言葉を聞いていると、コロナ禍も乗り越えられると感じました!



ウクライナ オブルチ第三学校の子どもたち

ネパール ラダ・クリシュナ（児童養護施設）
の子どもたち



～編集後記～

新型コロナウイルスの影響で海外渡航が難しい中、私たちに何ができるのかを模索する日々が続いています。そのような状況下で、9月から福島支援活動を一部再開できたのは幸いでした。以前のように温熱施術ができませんが、私たちが今できることを福島を始め、ウクライナ・ネパール・ベネズエラでも続けております。今後も可能性を模索しながら活動を続けてまいります。

発行：一般社団法人 世界の子供たちのために (CheFuKo)

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2-5-1住友不動産御茶ノ水ファーストビル8階

TEL : 03-5577-3155

FAX : 03-3291-0011

E-mail : info@chefuko.org

URL :

http://www.chefuko.org



<https://www.facebook.com/CheFuKo/>



@CheFuKo_japan



Instagram



CheFuKo通信 vol.17
2020年12月14日発行